

周産期センター

- 小児科
- 産科

妊娠、分娩、産じょく、新生児管理を連続した一つのユニットと考え、高度で最新の医療を提供するべく周産期センターを設立します。

担当医師からひと言



産婦人科科長 我妻 理重

地域周産期母子医療センターとして、産科と新生児科が連携し、24時間体制で、安全な周産期管理を目指します。



小児科科長 工藤 充哉

新本院では、新生児は周産期センター（NICU 3床から稼働）で、小児は小児科病棟で、それぞれ独立した看護体制の下で入院医療を行います。

これまで別々の階にあった産科と新生児科が、同じ階になることで、今まで以上に連携を密に取りながら診療を行うことが可能となりました。さらに、NICUの設置によって、高度な新生児管理を行える体制も整備していきます。

対象となる疾患は、切迫早産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、双胎妊娠、胎児発育不全、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、内科的疾患合併症妊娠などです。

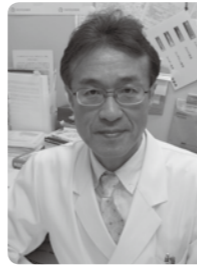
がんセンター

- がん診療を行う診療科

市民病院本院では、消化器、肺、血液、泌尿器、婦人科、乳がんなどの領域で、県内でもトップクラスの診療を行ってまいりました。

新本院がんセンターでは、最先端の医療環境の下で、診断・手術・放射線治療・化学療法と、それぞれの専門医が協力して診療を

担当医師からひと言



がんセンターセンター長 蒲生 真紀夫

腫瘍内科では最新の抗がん剤治療を行っています。また、一人一人の生活スタイルにあった治療を続けられるように支援します。



がんセンター副センター長 今野 文博

センター化により、スムーズな流れの治療を実現させ、増設された手術室でより早く、より確実にがんを取り除く治療に専念します。

行い、他の職種もチームで患者を支え、丁寧な説明と納得に基づいて、国内最高水準の治療を提供します。

国指定の「地域がん診療連携拠点病院」として、住民の皆さんとともに、県北に「がんになっても安心して暮らせる社会」を実現したいと思います。

万が一、検査やかかりつけ医であなたや家族が、がん（の疑い）と言われたら、紹介してもらってください。十分な準備を整えてお待ちしております。

手術室の環境整備

- 手術室は、現在の八室から十二室へと増やし、幅広い術式に対応できる環境を整えました。
- ◆一般手術室……………8室
 - ◆ハイブリッド手術室…1室（手術台と心・血管エックス線撮影装置を組み合わせた手術室）
 - ◆大型手術室……………1室
 - ◆感染用手術室……………1室
 - ◆バイオクリーン手術室…1室（無菌または微生物が少なく洗浄度の高い手術室）



ハイブリッド手術室

県北初 最先端の医療機器を導入

がんの診断・治療を向上させるため PET・CT、IMRTなど高精度放射線医療機器を導入します

PET・CT（陽電子放出断層撮影装置）は、放射能を含む薬剤を体内に取り込み、そこから放出される陽電子線等特殊カメラで撮影し、CTで撮影したものと重ねて画像とするもので

でき、正常な組織の副作用を減らすことができます。これらは県北部では初の導入となり、仙台などへ行くことなく当院での診断・治療が可能となります。

がん細胞や炎症を起こしている部分は、他よりブドウ糖の代謝が大きいため、異常な代謝状況を色で捉えることができます。

これにより、従来より早い段階でがんを診断して、治療を始めることができるようになります。

IMRT（強度変調放射線治療）は、最新のテクノロジーを用いて、放射線の強度を変化（変調）させ照射する方法のことです。

これにより、がんの形が複雑であっても、その形に合わせた治療を行うことが



更新する医療機器

- ◆SPECT（単光子放射型コンピュータ撮影装置）
体内に注入した放射性同位元素の分布状況を断層画面で見るときの装置です。特に、脳血管障害や心疾患の診断で威力を発揮します。
- ◆MRI（磁気共鳴画像撮影装置）
強力な磁石でできた筒の中に入り、磁気の力を利用して身体の臓器や血管を撮影するための装置です。

軟らかい筋肉などの組織の状況を検査することができます。

- ◆CT（コンピュータ断層撮影装置）
身体にエックス線を照射し、通過したエックス線量の差をデータとして集め、コンピュータで処理することによって身体の内部を画像化する装置です。身体を輪切りにした断面像が得られます。
- ◆血管造影撮影装置
エックス線透過の薬剤を注入することで、血管の形状を撮影し、血管の詰ま

- りや膨らみ、破れなどを見るための装置です。
- ◆乳房エックス線撮影装置（マンモグラフィ装置）
乳がんの早期発見のために、乳腺や乳房のレントゲン撮影をする装置です。触診だけでは分かりにくい病変を画像化するため、乳房を圧迫し均等な厚みにして撮影します。
- ◆エックス線透視撮影装置
エックス線を用いて、リアルタイムに観察部位を映し出す検査のための装置です。胃や腸の観察などに使用します。

内覧会

事前の申し込みは不要です。時間内は、内覧コースに沿って、自由に見学できます。

日時 6月14日(土)・15日(日)
10時～16時（15時30分受け付け終了）
受付 新本院1階エントランスホール

引越し日

6月28日(土)

外来診療開始日

7月1日(火)

バスの乗り入れについて

シャトルバス（小型バス）、美里町民バス、ミヤコーバスの乗り入れを予定しています。時刻・運賃などについては、決定し次第、広報おおさきや市ウェブサイトなどでお知らせします。

新本院については、病院ウェブサイトにも情報を掲載しています。http://www.h-osaki.jp

原則として「紹介予約制外来」になります

7月1日(火)から、新患で受診する人は、緊急の場合を除き、小児科を除いたすべての診療科で、原則として「紹介予約制外来（他の診療所、病院からの紹介状と診療予約が必要）」になります。詳しくは、広報おおさき6月号でお知らせします。

市民病院地域医療連携室 ☎ 23-3311